

資料 ③

090326検討懇談会

福山市景観計画検討懇談会 第2回

2009年3月26日

事務局：福山市建設局都市部都市計画課



議事内容

1. 第1回懇談会での意見について
2. 市民アンケート調査の状況について
3. 景観形成の目標と方針について



1. 第1回懇談会での意見について

説明内容

- 福山市景観計画策定について
 - 良好な景観とは
 - 福山市の景観
 - 福山市の景観形成への取組と課題
 - 景観法と景観計画の概要
 - 景観計画策定の必要性
 - 計画策定に係る体制とスケジュール
- 市民アンケート調査について



【意見の分類】

1 基本的な考え方についての意見

- (1) 景観形成の根底をなす視点に関して
- (2) 景観形成の目標や方針の決定に関して
- (3) 景観形成実現の方策に関して

2 景観形成のための取組についての意見



1 基本的な考え方についての意見

(1) 景観形成の根底をなす視点に関して

- 計画づくりにおいては、良好な景観形成だけが目的ではない
- まちづくりのために景観をどう使えばよいかポイント
- 計画づくりは、福山のまちをどうしていきたいかに尽きる
- 景観計画は行為を制限するためのものではなく、めざすべきまちづくりをまとめることが求められている
- 「何のために景観計画をつくるのか」そして「福山市の景観計画には何が大事か」を考えることが重要



1 基本的な考え方についての意見

(2) 景観形成の目標や方針の決定に関して

- 良いまちづくりとは、潤い、喜び、楽しみを感じて元気に生活できる環境づくり
- 「地域の誇り」を尊重したい
- 住民と来訪者によつての魅力を向上させ、まちづくりに誇りを持たせることが必要
- 人口・人材の確保のためにも、感性が育てられ、Uターンしたくなる景観づくりが必要
- 企業活動の利便性とバランスのとれた景観づくりが必要
- 人口減少を防ぎ、産業を活性化する
- 来訪者を増やし、産業振興を図る



1 基本的な考え方についての意見

(3) 景観形成実現の方策に関して

- 住民が地域の素晴らしさや、力を合わせれば素晴らしいまちになるという意識を持つことが必要
- 「地域の協働」を尊重したい
- 豊かな自然は、地域毎に市民と協調しながら保全すべき
- 住民のまちをきれいにしようとする気持ちは大切
- 市内には誇りうる景観があり、もっとPRすることで市民意識も高まる



2 景観形成のための取組についての意見

- (1) 市域の景観資源について
- (2) 景観形成のための基準について
- (3) 屋外広告物の制限について
- (4) 公共施設の整備について
- (5) 歴史・文化を守り育てる取組について
- (6) 自然や農地の保全に向けた取組について



2. 市民アンケート調査の状況について

■ 調査の概要

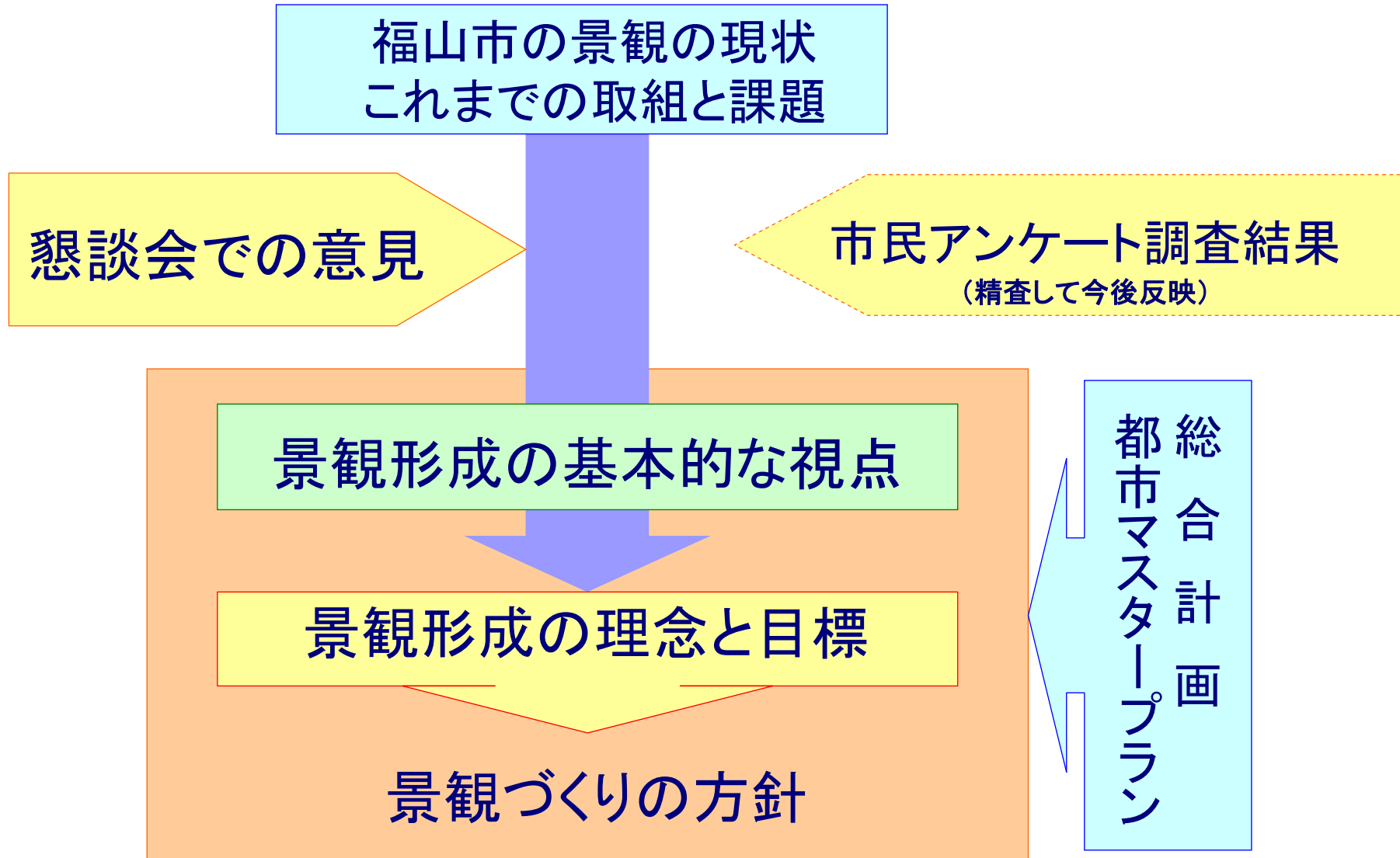
- 対象地域：福山市全域
- 対象者：15歳以上の市民
- 配布数：3,000票（回収率30%を想定）
- 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- 実施方法：郵送配布，郵送回収
- 実施時期：2009年2月20日発送（3月2日返送期限）

■ 回収状況（2009年3月5日時点）

- 回収数：987票（回収率32.9%）



3. 景観形成の目標と方針について

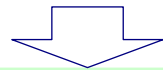




景観形成の基本的な視点

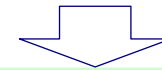
[景観形成の根底をなす視点]

- ① まちづくりを実現するための景観づくり



[景観形成の目標, 方針の
決定に関する視点]

- ② 多様な景観資源が輝く,
福山らしい魅力的な
景観の発見と育成
- ③ 自然や歴史と人々の
営みが調和した景観づくり



[景観形成実現化の
方策に関する視点]

- ④ 住民, 事業者, 行政
の協働で取り組む
- ⑤ 景観づくりを総合的・
体系的に取り組む

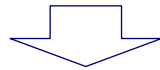




景観形成の理念

[景観形成の根底をなす視点]

① まちづくりを実現するための景観づくり



[総合計画 将来都市像]

にぎわいしあわせ あふれる躍動都市
～ばらのまち 福山～

[都市マスタープラン]

- ・安心・安全で快適な暮らし
- ・中国・四国地方の拠点都市としての
拠点性と求心性

【景観づくりの理念】

住人と来訪者の両方が、
潤いや楽しみ、喜びを感じられるような

笑顔あふれる 景観まちづくり



景観づくりの目標

【景観づくりの理念】

住人と来訪者の両方が、潤いや楽しみ、喜びを感じられるような

笑顔あふれる 景観まちづくり



[大目標]

景観から感じる、
“多様な魅力に
あふれた
福山づくり”

[小目標1]

◆「まち」の潤いやにぎわい、活力を感じる景観づくり

[小目標2]

◆貴重な歴史・文化を次世代に引き継ぐ景観づくり

[小目標3]

◆多様な自然を身近に感じられる景観づくり



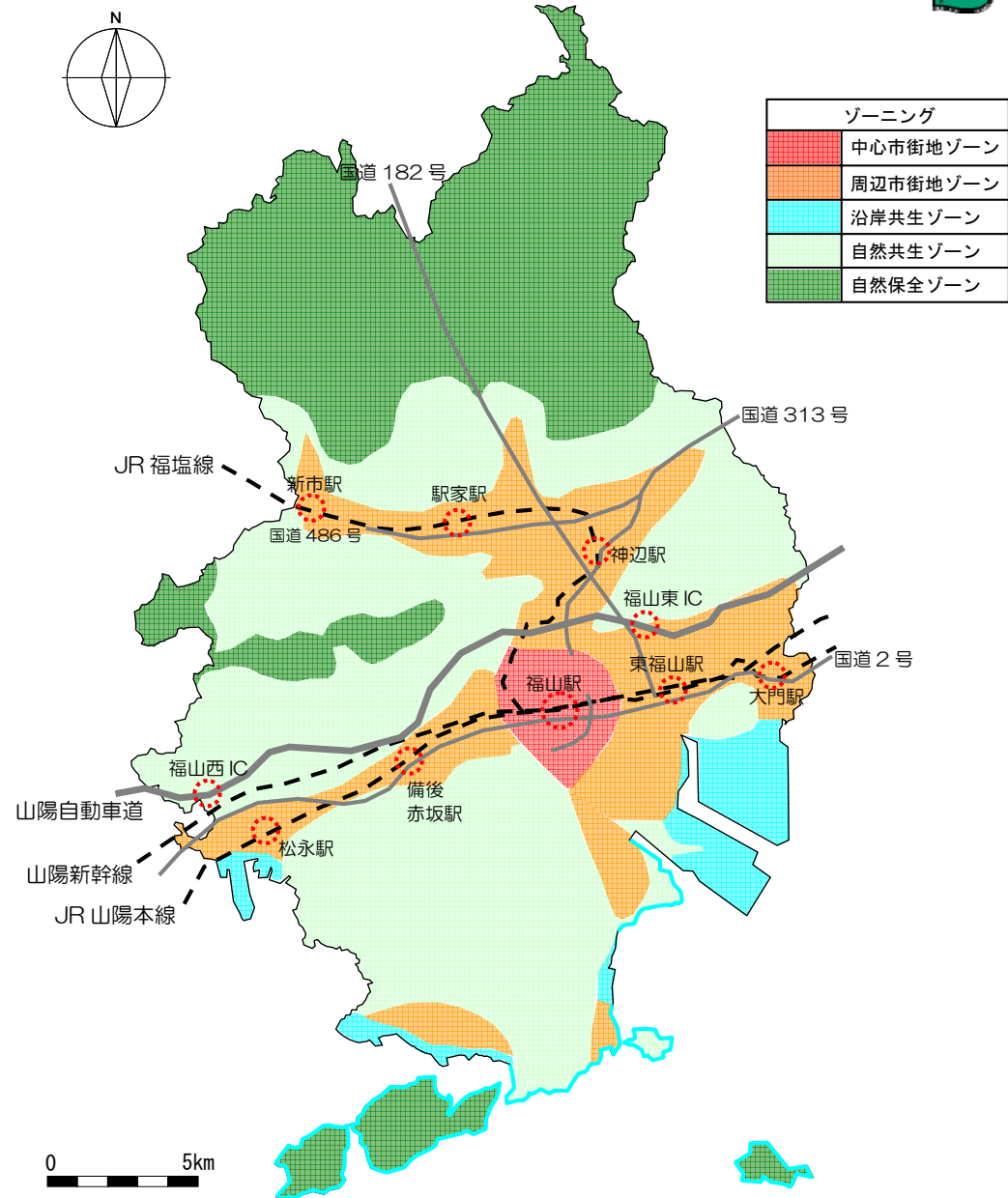
景観づくりの方針

【景観まちづくりの ゾーニング】

- ・地形や土地利用の特性
などから、市域をめざす
べきまちづくりの
5類型(ゾーン)で区分



類型毎の
景観づくりの方針



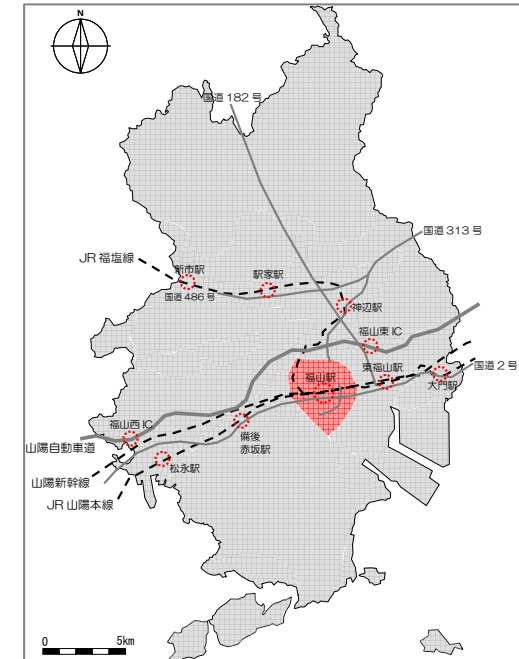


中心市街地ゾーン

【特徴と課題】

福山駅を中心とする市街地で備後の中核都市にふさわしい都市づくりを行っていくゾーン

- ・備後の中核都市にふさわしい風格とにぎわい，楽しさが感じられる景観づくり
- ・歴史・文化施設が集積した景観
- ・歩いてみたくなる景観づくり
- ・都市の玄関口としての良好な景観づくり



(目指すまちづくりの姿)

- ・中国・四国地方の拠点都市にふさわしい拠点性と求心力を備えた都市機能の集積を図り，徒歩圏内に生活機能が充実した，歩いて暮らせるまちづくりを進める。



中心市街地ゾーン

【景観づくりの方針】

- 活力ある現代都市景観の
歴史的・文化的景観との融合
- 元気・楽しさが感じられる
駅南側の景観づくり
- 歴史・文化が感じられる
駅北側の景観づくり
- 地域景観資源を結ぶ
魅力的な回遊路景観づくり
- 幹線道路沿道の快適な景観づくり



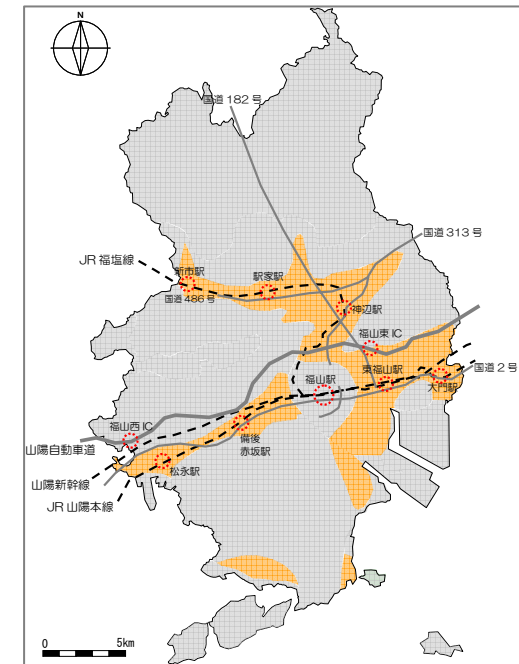


周辺市街地ゾーン

【特徴と課題】

中心市街地ゾーンの周辺に広がる市街地で地域の特性に応じたゆとりあるまちづくりを行っていくゾーン

- ・鉄道駅や市役所支所周辺など地域の拠点としての活力が感じられる景観づくり
- ・各地域の持つ歴史・文化的な景観資源を活かした景観づくり
- ・小規模な開発地での規制・誘導
- ・国道等の幹線道路の沿道や高速道路のIC周辺での快適な景観の形成



(目指すまちづくりの姿)

- ・中心市街地ゾーン周辺の住宅地地域では、地域特性に応じた生活機能の充実や公共交通の利便性向上などにより、ゆとりあるまちづくりを進めていく。



周辺市街地ゾーン

【景観づくりの方針】

- 多様な地域特性を活かした
地域の「顔」づくり
- 地域住民が誇りと愛着を感じる
歴史・文化的景観の保全・整備
- 魅力的な住宅地景観づくり
- 農地の身近な緑景観資源
としての活用
- 幹線道路沿道・高速道路IC周辺
での快適な景観づくり



神辺本陣



吉備津神社



松永クリーク



住宅団地

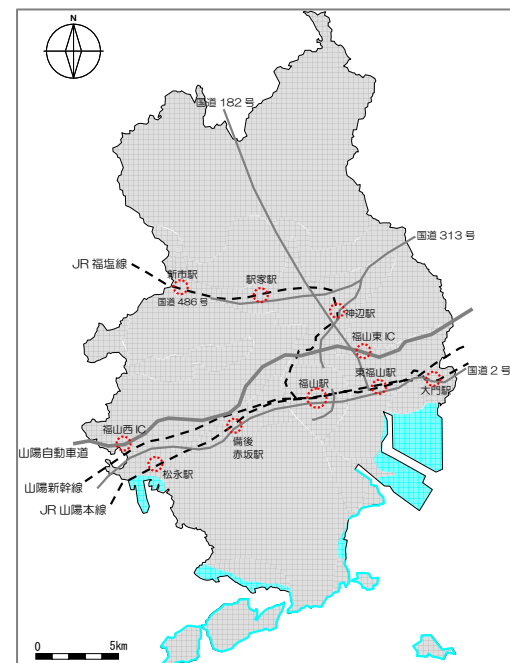


沿岸共生ゾーン

【特徴と課題】

東部から沼隈，松永にいたる臨海部の工業地域や水呑から鞆，沼隈，内海，走島などの沿岸部からなるゾーン

- ・瀬戸内海に浮かぶ島々と一体となった美しい海浜景観
- ・安全で住みよいまちづくりと魅力的な景観の共存
- ・瀬戸内海の自然と調和した歴史的景観や現代の公共施設や工作物
- ・臨海部の工業集積地における景観づくり



(目指すまちづくりの姿)

- ・本市産業の中心的役割を担っており，今後とも，ゾーン内や周辺の水産業や観光の拠点，住宅市街地などの環境との調和に配慮した，産業拠点形成を図っていく。



沿岸共生ゾーン

【景観づくりの方針】

- 自然景観の保全, 活用
- 住み良さと歴史・文化が
調和する鞆の景観づくり
- 自然景観と人がつくりだす
景観との融合が地域の
活性化に寄与する景観づくり
- 鞆, 沼隈, 内海での海からの
景観づくり
- 活力が感じられる
産業景観づくり



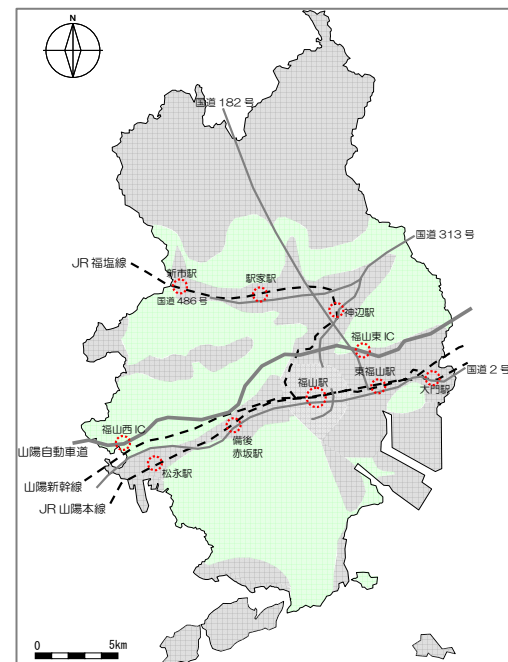


自然共生ゾーン

【特徴と課題】

市街地を取り囲む丘陵や農地，集落を多く含む，市街化調整区域を中心とするゾーン

- ・芦田川等の水や緑と一体となった景観の形成
- ・山々のふもとに広がる田園や集落地の調和した景観の形成
- ・農業活動の保全・維持



(目指すまちづくりの姿)

- ・丘陵や農地は，治山・治水機能を有する都市に潤いを与える重要な地域資源であり，今後も市街化抑制を前提に，全体の土地利用構想に基づき計画的な保全及び整備を行っていきます。



自然共生ゾーン

【景観づくりの方針】

- 農業生産と一体になった
田園景観の維持・保全
- 良好な水辺景観づくり
- 主要な道路沿いでの
自然と調和した景観づくり



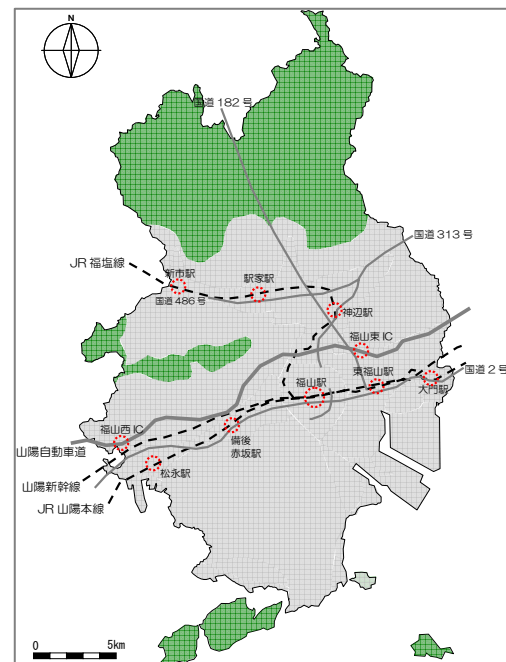


自然保全ゾーン

【特徴と課題】

北部や島しょ部の山林など、都市的な土地利用が見込まれない、都市計画区域外を基本とするゾーン

- ・自然景観の利用と保全のバランス維持
- ・緑と調和した集落景観の形成



(目指すまちづくりの姿)

- ・北部山間地域や島しょ部は、都市的な土地利用が見込まれない都市計画区域外であり、今後も優れた自然環境の保全を前提に、レクリエーション環境の整備を中心とした地域形成を図っていきます。



自然保全ゾーン

【景観づくりの方針】

- 都市的な景観の背景となる緑の保全
- 魅力ある景観拠点の形成
- 山村集落や自然景観の景観保全



龍頭の滝



農業地と集落(新市町)



山野峡



もみじ橋周辺